

笠原小学校 5・6 年生保護者との意見交換会 主な意見・質問と回答

日時：7月9日（木）午後6時30分～7時30分

場所：笠原公民館

主催：笠原小学校 PTA

参加者：8名

出席者：笠原小学校 PTA 会長、顧問

齊藤教育部長、清水副部長、大島副部長兼学務課長、鳥沢課長、藤平副課長、
新井副主査

1. 開会

2. 挨拶（PTA 会長・教育部長）

3. 資料説明

（1）鴻巣市立小・中学校通学区域審議会後の経緯

※令和2年度笠原小学校入学予定であった児童が0人となったことへの対応

（2）これまでの笠原小学校に関する審議会等の経緯

（3）笠原小学校児童生徒数の現状と推移

（4）教育委員会としての今後の方針（笠原小学校の統廃合について）

4. 意見交換

5. 閉会

【意見と回答の要旨】 ※「→」は当日の回答

- ① 来年度の入学予定の方は、ほとんどが鴻巣中央小学校を選ぶのか、笠原小学校を選ぶのか、わかっていたら教えてほしい。
→現時点で把握はしていない。来週、入学予定者との意見交換会を開催するので、その後要望等を伺いたい。

- ② 来週（7月15日）の対象者は。
→令和3年度入学予定の児童の保護者を対象としている。

- ③ スケジュールについて、いつ頃廃校を考えているのか。
→制度上は来年度実施も可能であるが、定例教育委員会や懇話会では、慎重にという意見や交流事業を実施してからという意見をいただいている。加えて、意見交換会等の意見を踏まえて判断したいと考えている。

- ④ 中学校の接続について、笠原小学校は鴻巣北中学校、鴻巣中央小学校は鴻巣中学校となっており、兄弟でも別れてしまうことも考えられるが。
→現状では、通学区域審議会の結果として、審議事項は妥当と決するに至らなかったとなっているが、今後は状況が変われば通学区域審議会を開催し、審議を行う。
兄弟で進学先が別れてしまうことを防ぐ事も当然考慮する。

- ⑤ コロナの状況で、笠原小学校の人数がちょうどいいと思うが、鴻巣中央小学校等はどのような対応をしているのか。
→1例として、空き教室の利用や大型テレビの利用により分散授業を実施している。
効果があるとされている、手洗いの時間を多くとったりしている。
他の学校においても、笠原小学校と同じように感染症対策を実施している。

- ⑥ 送迎について今後の方針は。高学年でも笠原小学校からなら一人で帰宅し、留守番も可能であるが、鴻巣中央小学校からでは困難である。
→今後は下校についても検討しなくてはいけないと考えている。

- ⑦ 鴻巣中央小学校に行くと、別の学校への通学ということでいじめの対象となってしまう等の懸念がある。そのようなことに関するケアや学校間交流を増やしてもらって、仲良くなった時点で一緒になるのが良いと考える。
→懇話会でも意見をいただいているので、交流事業等を実施して、一緒になればと考えている。

- ⑧ スケジュールについての見通しは全然ないのか。
→意見交換会や、懇話会で意見を聞きたい。
来年 4 月は現実的ではないと考えるが、早い段階でという話をいただいているため、意見交換会等が全て終わり次第、早い時期に示したい。
- ⑨ 年度途中で廃校となるのか。
→途中ではなく、年度で切り替えたいと考えている。
- ⑩ 十分な意見交換といっているが、この人数どう思うか。3 日に出した通知で、9 日は乱暴。前にも伝えたが、早く通知を出すべき。
- ⑪ 地域に話をするといっているが、何一つ地域におりてきていない。
自治会の神社で新 1 年生をお祓いする際には何人かいたので、安心してしたが、結果 0 人になったので地域からお怒りの意見をもらっている。これで説明しましたというのは困る。今日の意見交換会が成立したとは言えないのではないか。
→5、6 年を対象に意見交換会をしたという事実は残る。本日参加されていない方には議事録等を送る。まずは在学中の保護者から順番に実施し、その後、未就学、地域と話をしていく。
- ⑫ 地域の方は、学校はなくなってほしくないと思っていて、自分もそう思っていたが、ここまで児童数が減るとやむを得ないと思っている。学校がなくなると活気がなくなるし、どうしたらいいかわからない。意見交換会等、間隔を空けずに早急に開催してくれれば、考えが一致してくるのではないか。
- ⑬ ジュニアシートは何歳までが付ければ良いのかわかっているのか。確認してほしい。
必要だと思う。
→確認させてもらう。
- ⑭ 兄弟など、本来一緒に通う予定の児童が別々に通うこととなり、地元が悲しんでいる。
- ⑮ 笠原小学校に入学予定の家庭は、本当に自ら鴻巣中央小学校への通学を希望したのか。
→教職員配置により保護者への確認を行ったが、誘導している事実はない。
鴻巣中央小学校に行きたいが、スクールバスを出してくれないのかと複数の保護者から言われていた。その後市として、基準を設けた上で、登校支援を導入したが、あくまでも審議会の答申に基づいた対応である。
登校支援については、実施が決まった時点で連絡しているが、これは教職員の配置に影響があるからである。
笠原小学校への入学予定者が徐々に鴻巣中央小学校への通学を希望し、最終的に全員が鴻巣中央小学校への入学を希望している。

- ⑯ 笠原地域は狭いところなので、地域の方から色々と言われてしまうという意見を聞いて、可哀想だと思った。
- ⑰ 保護者は、悩んだ末に一番は子どものことを考えて決断しているため、地元の意見もわかるが、子どもたちのことを考えてほしい。
- ⑱ バスについて、廃校となった場合も何キロという基準は残るのか。
→現状は市全体の考え方として、2キロの基準を守ってやっている。
廃校となった場合には、通学区域審議会を開いて審議が必要ではないかと考える。
- ⑲ 2キロ圏内であるが、通学路が危ない。整備はしてくれるのか。
→すぐに整備が可能とは約束できないが当然の対応と考えている。要望をあげるなど、早急に対応をしていく。
- ⑳ 通学距離について 低学年であると通学が難しいのではないか。
→何が何でも2キロで線を引いてという考えではない。今後も検討していく。
- ㉑ 今日出た意見を明日の説明会に参加される方に伝えてほしい。
→伝える。